

## 令和7年2月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時 令和7年2月20日(木) 午前10時00分 開会  
午後11時00分 閉会
2. 件 名 河南町教育委員会定例会
3. 開催場所 河南町役場 庁舎4階 大会議室南
4. 出席委員 教 育 長 中川 修  
教育長職務代理者 西川 幹雄  
委 員 藤原 充  
委 員 高井 美恵子  
委 員 杉田 みはる
5. 事務局職員 教・育部長 谷 道広  
教・育部理事兼指導主事 内山 裕生  
教・育部副理事兼指導主事 柏木 俊介  
教育課長 藤井 康裕  
こども1ばん課長 山田 恵  
生涯まなぶ課 森 弘樹  
給食センター所長 浅井 明郎

### (審議内容)

教育長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>令和7年2月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>本日はこの後11時から、総合教育会議の予定です。</p> <p>今、ちょうど高校入試の時期ですね。今日は府立高校の特別選抜で、受ける生徒はそれほど多くないですが、3月に入ると今年は初めてのオンライン出願という形で、3月12日が一般選抜。私学の方は、この間終わっていますが、中学校は、今、緊張ムードの中で、ものすごく寒い時期なので体調の方も整えながらという感じです。</p> <p>小学校も、いよいよ卒業とか進級を控えて、残りも4週間ぐらいという時期です。この時期はまとめと同時に、次につなげるっていう大切なところでもあります。こども園も同じように、健康面にも気をつけながら1年の総仕上げを一生懸命やっただいていてというところなので、いい形で終わって、いい形で来年度を迎えたいという非常に大事な時期ですので、皆さんどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>まず初めに本日の定例会への傍聴について、その申し出はなかったことをご報告します。</p> <p>次に、本日の出席者は5名です。定足数を満たしていることをご報告します。</p>
-----	--

	次に、会議録署名委員は河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、藤原委員に決定してよろしいでしょうか。
全員	異議なし
教育長	ご異議ないようですので、会議録署名委員は藤原委員に決定しました。 本日は議案はありませんので、「2. 諸報告その他」に進めさせていただきます。まず「(1) 令和7年度予算要求主要事業一覧について」、事務局の説明を求めます。
事務局	「(1) 令和7年度予算要求主要事業一覧について」、資料に基づき説明。
教育長	はい。今4つの課から、主な事業を中心に説明させていただきました。 拡充や新規の事業が今までよりも多く盛り込まれています。何かご質問等ございますでしょうか
委員	この予算要求の中でパッと目立つのが、金額的には認定こども園の運営費ですね。これはもう桁が違うのは理解できます。 次に目立ったのは、GIGAスクール構想事業。7,500万ですかね。これはハード面の整備経費というふうに考えていいわけですね。
事務局	そうです。
委員	結構、高額なものですよね。それについて1点だけ教えていただきたいのですけども。 これは私の私見ですが、GIGAスクール構想というのは日本の教育に関する国家プロジェクトですね。私、よく異業種交流会でお話させていただくのですけども、このGIGAスクール構想とは、仮想と現実が入り混じる「Society 5.0」と言われる世界を今の子ども達が生き抜けるように、個別最適化され、創造性を育む学びを実現させる国の取り組みだと、文科省では位置付けているらしいです。 児童生徒向けの1人1台端末、高速大容量の通信ネットワークの整備、その費用ですね。多様な子ども達を誰1人取り残すことなく育む教育を全国の学校現場でやりなさいという構想だと思います。 実現のために設備投資としてかなり高額の予算が必要となるわけですからけれど

	<p>も。</p> <p>ここで私見ですが、ハードウェアを充実させると同時に、デジタル教科書や学習用アプリ、クラウドサービスと呼ばれていますけれども、そういったものや指導体制を充実させることが揃って初めてこのG I G A構想が機能していくんじゃないかと思います。</p> <p>そこで質問です。私は特に指導体制の充実が重要なポイントと考えていますが、そうした新たな体制づくりには、外部の声を積極的に取り入れること、例えばI C Tに長けたプロアドバイザーのサポート、I C T支援員の登用または町民を巻き込んだワークショップを行って、デジタルに詳しい人材を発掘するなど、いろいろと考えられるんですけども。この点について、現在の進捗状況とか、今後の人材の育成について何か構想があればお聞かせいただきたいと思っています。</p>
教育長	<p>今の意見について他の委員さんから、補足とか、同じようなことを聞きたいとかっていうふうなことはないですか。よろしいですか。では、事務局は把握できているところを説明してください。</p>
事務局	<p>I C T支援員に関しては、昨年度まではG I G Aスクール運営支援センターの予算を取っており、何か困ったときにはそこに電話するという形でした。ただし、実績は年に数回に減ってきているので、ある程度はI C Tについての知識が深まってきているのかなというのが見えております。</p> <p>一方、毎年大阪府教育センター、大阪府教育庁主催の研修があり、各校が1名推薦者を出して、他校の取り組みを授業参観し、それを各校でフィードバックをして伝達研修をする取り組みが行われています。毎年異なる人に受講させるようにという府教育庁の指示もあり、今年で3年続いているので、各校でそういった研修を受けてきた者が3人いる、その者たちが現地で伝達研修をしているということで、現状こうなっています。</p> <p>今日の教育長の挨拶にもありましたけど、本年度に高校入試出願がオンライン化された時、ものすごく危機感を感じたのですが、河南町の対応としては進路指導主事専用のパソコンを用意してハード面をそろえる一方、担当教諭と連絡取りながら行いました。今のところはオンライン出願についての質問を聞いていないので、マンパワーという点では教員の能力は比較的養われていると判断できると思います。</p>
委員	<p>なるほど、ありがとうございます。</p>

教育長	はい。他にはよろしいですか。どうぞ。
委員	はい。中学校の部活動地域移行支援事業なのですけれども、これは部活の顧問だけの先生が来るということですか。
教育長	中学校の部活動の地域移行というのは今までも話があって、状況を見て、とか、受け皿の問題とかっていうことで、ずっとここまで来ています。その間も事務局ではいろいろな所に話を持って行って協力を願ったり、近隣市町村の状況の情報を収集したりしながら動いてきている中で、今の委員さんの問いに対して答えてもらえますか。
事務局	河南町では中学校1校なので、基本的に学校の教員が校務を担いながら、割り当てられた部の顧問として指導を行っています。この支援事業は、教員以外の人を雇用して、部活動の時間帯の顧問の負担軽減をするということです。顧問の教員が他の業務ができるような形で、部活動の支援員が子ども達の指導にあたるという事業です。と言っても完全に支援員に任せられるかということ、現実的には厳しいと思います。1つのクラブに複数の教員が顧問としてついているので、支援員が入る時間帯は教員はその部活動業務から離れてもよいということで徐々に負担を軽減し、ゆくゆくは地域移行を進めていくという方向につながっていきたいと考えています。
委員	<p>ここで言うことかどうかわからない部分はあるのですけれども、今、町立中学校の生徒でも、学校の部活に入らずに、外部のクラブに入るといったことが結構増えてきているのかなっていうのは感じていて。学校の部活動でかかるお金と、外部のそういうチームでかかるお金って、全然変わってくるというのが親の実感としてあって。例えば大阪市のように教育バウチャーを発行して自治体って結構あって、塾代の助成で月に1人1万円もらえて、その1万円をチームの部費に充てることのできるそうです。河南町にもそういうものがあればいいのになって思ったりしたので。</p> <p>部活動の地域移行っていうのはもちろん喫緊の課題だと思うのですが、部活動に絶対に入らないといけないっていう状況ではないのだったら、全体の公平性ということを考えると、支援の方法は他にもあるのかなっていうのは感じると思います。</p>

教育長	<p>はい。この件について他に何かご意見ありますか。</p> <p>部活の経費の問題はずっとありますし、今、学校外のクラブに入っている子どもへの支援のあり方という視点のご意見をいただいたのだけど、その辺はどうですか。今後も、この問題について引き続きこの場でも話し合いたいと思っておりますのでよろしく。</p>
委員	<p>今回、この予算で特に充実した部門とか、或いは目玉商品と言ってはおかしいですけども、来年の令和7年度はこういうところに重点的に予算を配置してたとか、簡単で結構ですので、教育長からでもちょっと言っていただけたら。</p>
教育長	<p>そうですね。さっきも申し上げたように、事業の新設と拡充ということがあります。例えば小中の問題で言うと、大きくは不登校の問題です。</p> <p>府の方でも3つの柱の中の1つは不登校の対策です。町議会からもいくつか質問をいただき、教委から回答する中でご理解もいただいている。今、現実問題として、不登校の子どもが増えてきているという状況もありますのでね。そこについては、今回、ほこすぎルームの拡充という形で対策の充実を図っています。</p> <p>次にコミュニティ・スクール事業ですね。KANAN BEAMに掲げる、地域をはじめとするいろいろな繋がりを具体化するということで、コミュニティ・スクール事業によりやく予算がつき、取り組みを進めていけるようになりました。今後、学校や園のみならず、地域の方とも連携しながら子ども達を育成していきたいと思っています。</p> <p>あとは給食の公会計化や、こども誰でも通園制度とか、これは町長も子育てにもものすごく力を入れているので、今の子育て状況をより良くするための取り組みの一環です。これは子どものためでもあるし、保護者の孤立を防ぐっていうねらいもあります。他に重点事業があれば事務局から補足してください。</p>
事務局	<p>はい。教育長のお話にもありましたが、KANAN BEAMという考え方で、かなりの新規事業とか拡充事業に取り組んでいます。特に子育てについては、後程説明しますが、子ども・子育て計画を立てて、0歳から2歳の子どもとその保護者への事業の拡充とか、もちろんそれ以降の子どもの教育についての拡充、或いは、給食センター所長が言いましたように、私立の保育園も含めて、学校園の給食の完全無償化を考えております。その他、教育、こども1ばん、生涯まなぶの3課、そして給食センター、すべての事業において充実させていきたいと考えております。</p>

教育長	<p>はい。この話題は、おそらく次の総合教育会議の中でも、話し合う機会があると思います。はい。他にどうでしょう。よろしいですか。ないようですので次に、「(2) 令和6年度の修了式・卒業式及び7年度の入園式・入学式について」、これについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(2) 令和6年度の修了式・卒業式及び7年度の入園式・入学式について」、資料に基づき、説明。</p>
教育長	<p>どうでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>以前、入園式は石川と中村が同日だったので、職務代理者の方に一方の代読をしていただいていたのですが、このところずっと別の日程なので、教育長が両方とも参加させていただこうというふうに考えており、こういう形になっています。よろしいですか。</p> <p>他に無いようでしたら、次について進めさせていただきます。事務局からよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>「あそびのひろば」「スポーツ広場」について、資料に基づき説明。</p>
教育長	<p>はい。お時間が許せば、ぜひご参加をお願いします。</p>
事務局	<p>「第3期河南町子ども・子育て支援事業計画（案）について」、資料に基づき説明。</p>
教育長	<p>本来であれば、素案を事前にお渡ししておいて、よく見ていただいてご意見を、という予定だったのですが、今日この場になってしまいました。この後、パブリックコメントを行いますし、またご意見をいただきながらというふうに考えておりますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>石川こども園の経営等審査について説明。</p>
教育長	<p>議会での審査も終了しております。石川こども園の経営審査は、毎年やっていますが、議会への報告と審査は4年に1度ということなので、引き続ききちんと実施していこうと考えています。</p>

委員	<p>あと、もう簡単に、この石川こども園経営審査事項の審査基準について。</p> <p>1点、あれ？と思うのが実はあります。何かというと、①経営状況、②教育保育内容、③保護者アンケートって入っていますよね。僕は思うのだけど、現場で頑張る職員とか社員が物を言えない組織体になってしまうと必ず起こるのが、経営者、理事長とか社長の独善で走ってしまって、その組織自体が誤った方向に行くってこと、必ずこれあるんですよ。</p> <p>だから私は、この1、2、3のあとに4番目として、保育士職員のアンケートを入れるべきじゃないかと思います。現場を頑張っている先生方の声を聞いてあげるのは当然だと思います。私たちもこども園に1回検証に行かせてもらいますけれども、これはおかしいとか、こうしてほしいということ、園長や理事長に言える雰囲気なのかどうか。秘匿性の高いアンケートで声を拾いあげていくというのは、現場の先生を支えるという意味でも大切なことじゃないかと思います。</p>
教育長	<p>はい。他、今の委員さんの発言についてどうですか。必要な視点であると思いますし、先日の議会で報告と審査を受けた段階でもご意見をいただきましたので、今後そこは反映させていきたいと思っております。他にどうですか。</p>
委員	<p>学校評価アンケート結果をこちらの資料に入れてもらっていて、各学校の様子がわかるし、石川こども園の様子もわかる。中村こども園のそういう保護者アンケートみたいなものはないのでしょうか。</p>
教育長	<p>あります。</p>
委員	<p>資料として出していただけたらと思って。</p>
事務局	<p>アンケートはとっています。今日は資料として出していませんが、アンケートは中村こども園でも実施しています。</p>
教育長	<p>はい。他にどうでしょう。よろしいですか。</p> <p>では、以上をもって本日の議事日程はすべて議了しました。これをもって2月の教育委員会定例会を閉会します。</p> <p>次回開催日は3月26日水曜日、13時からです。</p> <p>4月の開催日は令和7年4月23日水曜日、13時30分からの開催としますので、よろしくをお願いします。</p>

	<p>本日はどうもご苦勞様でした。ありがとうございました。</p>
--	-----------------------------------

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名